



28の町内会で組織されています

西地区は、観光地としての宮川朝市があり、それを囲むように下二之町、本町筋商店街、そ

地区会長の一言



打保正守さん (前下三之町町内会長)

西地区連合町内会

町内会

環境美化活動
安全・防犯活動
自主防災活動
防犯灯の設置・管理
リフレッシュ活動
地域福祉・青少年育成

市内には285の町内会があり、住みよいまちづくりを積極的に推進しています。その重要な役割を果たす町内会を取りまとめる21の地区連合町内会について、順に紹介します。



多くの人でにぎわう宮川朝市

の周りに市の中心部の飲食店街と、新旧混在しているながら落ち着いた町並みを維持している地区です。唯一残念なのは、核家族化で、町並みが歯の抜けたような姿になっていることであり、高齢者の割合が高く、若者、特に子ども数の数が減少していることです。伝統や町並みを保存するには、ぜひとも若者の力がほしいところです。

きらり輝く地域活動
地域で子どもを守るスクールサポート

地域の子どものため、市内の小中学校では、週2回巡回パトロールを行っています。西地区ではさらに、毎月最初に町内の方たちが赤いジャンパーを着用して児童の登下校を見守っています。

このジャンパーは、社教が募金を募り、町内からの寄附金で100着購入。28町内に3着ずつ配り、子どもたちの安全な通学に役立っています。また、「地域のおじさん、おばさん



地域のやさいまなざしが子どもたちを守ります

運動」とともに子どもたちに声をかけあえる雰囲気に取り組んでいます。

子どもを通じ、親同士、住民同士が情報交換や連携し、よりよいまちづくりを目指しています。

私たちの地区自慢
温もりと
活力ある地域づくり

西地区では、健全な家庭と連帯感のある地域づくり、ふれあいを深め安心で安全な子どもの暮らしを守り、楽しく、誰でも参加できる活動の充実を図ることを目標としています。そうした地域の絆を深め

の一つが七夕川床飾りです。毎年20町内以上が参加し、市内を流れる宮川の川床に、子ども会が中心となり、町内会、商店街の人たちが七夕飾りをする伝統行事です。昼ごろから連合橋から鍛冶橋までの両岸に飾りつけが始まり、川床の装飾が整った夜には、子どもたち待望の花火が、この日ばかりは大っぴらにできます。このような行事が住民を

問合せ先

町内会連絡
協議会事務局
35-3412

《地域福祉・青少年育成》
遠くの親せきより近くの他人と言われることがあります。町内会では、子どもから高齢者の方まで、地域で安心して健やかに暮らせるように地域みんなで見守り、支えあう地域福祉活動や青少年の育成活動を行っています。町内会未加入の方はぜひ加入をお願いします。

住みよいまちづくりはみんなの手で！



提灯や七夕飾りが宮川の川面を彩ります

一つにし、元気で素晴らしい地区を創り上げています。